

## 〔参考1〕まちづくりに関する意見の募集

### 1. 意見募集の実施

#### (1)実施経過

- ・ 広報：広報誌及びホームページにより募集の周知
- ・ 募集意見の内容： 合併後のまちづくりに対する評価、課題  
今後のまちづくりで重点的に取り組むべき事項  
その他市政等への意見、要望
- ・ 募集期間：平成20年8月1日から1か月間

#### (2)応募の状況

- ・ 応募人数：8人（郵便・持参等による提出：7人、Eメールによる提出：1人）  
（男性：5人、女性：2人、匿名：1人）

### 2. 意見の概要

#### (1)合併後のまちづくりに対する評価、課題について

##### 【全般的意見】

- ・ 合併効果が出るのは、約10年はかかると言われており、大型プロジェクトなど色々な取り組みがあり、また分野も多岐に亘り、効果は道半ばという感じがする。
- ・ 市役所の機能も、本庁まで住民が行かなくても総合支所で処理できるよう望む。
- ・ 一般市民が見てわかる結果が、はっきり理解できるように広報してほしい。
- ・ ハード面では何をすることも意見を聞く団体が多すぎて進んでいないので、集約点を見出し走り出すことが重要である。
- ・ 合併時の約束は約束として、新市で事業の選択、順列化を再考すべきである。
- ・ 「聖域」となっている部分はないか。本当に必要か、費用対効果、国との役割分担など大胆な切り込みがまだ不十分な感じがする。例として、八代のツルの対策は、自然的、人工的な様々な理由による減少が考えられるが、学術的に貴重で本州に残さねばならないなら国の事業になるのではないか。
- ・ 目に見える箇所では「合併の効果」、「合併したことによる評価に足る変革」がはっきりしない。
- ・ 「あれもこれも」から「あれかこれ」と限られた財源の使い道を皆で話し合い、決めていく時代であり、5か年が経過し過去に実施してきた内容を見直し、これからの5か年に生かして行くことが大切である。特に10年計画で計上し、現在、未実施の事業など、本当に必要なのか？など、英断を持って対処することが必要である。
- ・ 現状分析において、何が問題であるのか、どうあるべきか等、本質を見極めてより明確化し、後期基本計画の策定時に反映させて行くこと大切である。
- ・ 婦人会は合併し、旧2市2町の連携ができて交流もできた。反面、行動範囲が広く大変な所もある。
- ・ 合併により多くの人との出会いがあり、情報も得ることができた。

## (2)今後のまちづくりで重点的に取り組む必要がある事項

### 【全般的意見】

- ・ 今後は、予算を総花的に使うやり方は止め、重点的に取り組むべきである。
- ・ 有数の工場群、港湾、島々、大学高専、大規模住宅群、山間地、大規模病院、商業地等及びそれに従事する市民をうまく組み合わせれば、面白い都市に再生するのではないか。
- ・ 今後は、地域自らが知恵を絞って生き抜かなければ国は助けてはくれない。周南市に住む者は運命共同体として、何とか英知と協調をもって再生を考えていくしかない。
- ・ 今後の「まちづくり」は、行政と住民が心をつにし、信頼感の上に立って、自治意識と責任感、相互協力をもって、協働により進めていくことが重要である。
- ・ 時代の変化に対して豊かに暮らせる社会の創出には、市民の一人ひとりが知識、経験などの英知を出し合い、地域の底力を示すことが大切である。
- ・ 個性と活力あるより良い「まちづくり」は、住民のチャレンジ精神に掛かっており、厳しい局面でも、逃避せず我々市民が解決していくという前向きな心意気が必要である。
- ・ これからの「まちづくり」のキーワードは、市民と行政の信頼関係を構築し、真の協働体制が創り出していけるかどうかである。
- ・ まちづくりの計画区域に入っている所、入っていない所の大きな差があり、もっと公平なまちづくりをして欲しい。
- ・ 市民が日常生活を送りやすいまちづくりを一番の基本に考えて欲しい。

### 【中心市街地（徳山駅周辺）に関する意見】

- ・ 駅前には15万都市の玄関として、100年たっても色あせない、身のたけにあった重厚なスタイル（ヨーロッパを手本に）にすべきである。
- ・ 徳山駅周辺の整備計画は全く市民の盛り上がりがない。
- ・ 市営駐車場を無料にして、現在の駅ビルを満杯にする工夫をすべきである。（若者が目を惹くようなブランド店の誘致など）
- ・ 旧徳山市内で衣類など気軽に買い物のできるお店がないため、下松など郊外に行かなくてはならず、車を運転しない人にとっては厳しい状況にある。
- ・ バスの徳山駅終点の位置が、三菱銀行前になっている便がある。駅からの乗り継ぎ時、地下道を通らなくてはならず不便である。
- ・ 駅送迎時の駐車スペースが少なすぎる。「ぐるぐるバス」が駅前に停車することやタクシーの駐車などにより、一般車輛の駐車スペースが少なく不便である。
- ・ 駅ビルと駅前開発はなるべく早く考えてほしい。
- ・ 徳山駅前対策（観光対応）：徳山動物園、回天記念館、温泉など点在する観光箇所が点在しているが、それを結ぶ観光対策が乏しい。まず『駅に降り立った方が観光箇所に自然に向かうことが出来る駅』を目指すことである。
- ・ 駅前がバス、人、タクシー、一般車両がどのようにすれば使いやすくなるか、デザイン等を公募してみてもどうか。

### 【環境に関する意見】

- ・リサイクルプラザ完成前にプラスチックゴミの分別回収の開始する必要がある。
- ・資源ゴミの対策として、大型商業施設に自主回収要請をする。
- ・ごみのポイ捨て条例を制定する。
- ・公園や街路樹の落葉等を収集して堆肥化するシステムや街路樹に返す（街路樹の周りに柵をして、その中へ落葉などを捨てる）など、有効利用とごみの減量化を進めるような取り組みを進める。
- ・年々早い時期に自主節水対応が取られており、近年顕著になってきている。早急な「水対策」が求められており、下水処理水の再利用や雨水の利用などの対応を必要である。

### 【その他】

- ・環境、文化、少子・高齢化、医療、介護等について、年度別に重点的に取り組む。
- ・教育問題全般（食育、スポーツ、徳育）にも特に重点的に取り組んでもらいたい。
- ・周南緑地の中の広大なスペースが十分利用されないので検討すべきである。
- ・徳山駅以外の市内各駅（戸田、福川、新南陽）周辺の整備を検討してもらいたい。戸田のような直売所など、具体的な対応が必要である。
- ・働く場の確保の更なる取り組みが必要である。
- ・観光立市の点からも近隣市との観光の連携を促進する。
- ・産業観光の推進や防府市との観光協定の拡大等
- ・農耕地対策：新南陽地域の農地が、虫食い状に不耕作地化（雑草地化）、宅地化している。行政として何らかの対応が必要である。

### (3)その他、意見、要望など

- ・JR徳山駅のエスカレーター設置は、体の不自由な私には助かった。
- ・各部署で異動があるのはわかるが、何を聞いても3回位電話を回されることが多い。もっと勉強をして、1回でわかるようにしてほしい。
- ・市道のグリーンベルトにビン、カンの投げ捨てが多い。国道はパトロールしてゴミ回収をしているが、市もすべきと思う。
- ・窓口サービスは、ドライブスルー的な発想があっても良いのではないか。
- ・市道の走行レーン等の白線が薄くなり判別し難い場所が多くなっている。
- ・本庁の駐車場がないことが困る。
- ・勝間駅周辺の安全性と活性化に努めて欲しい。
- ・熊毛地区で小回りのきくバスを走らせて欲しい。
- ・空店舗をフリーマーケット方式にし、海の海鮮市場、ポートレストラン、回天基地をメインに、全国にアピールする。
  - ・熊毛中学校からミコーまでの通学路は危険な場所が多いので、通学路の安全性を確保してほしい。